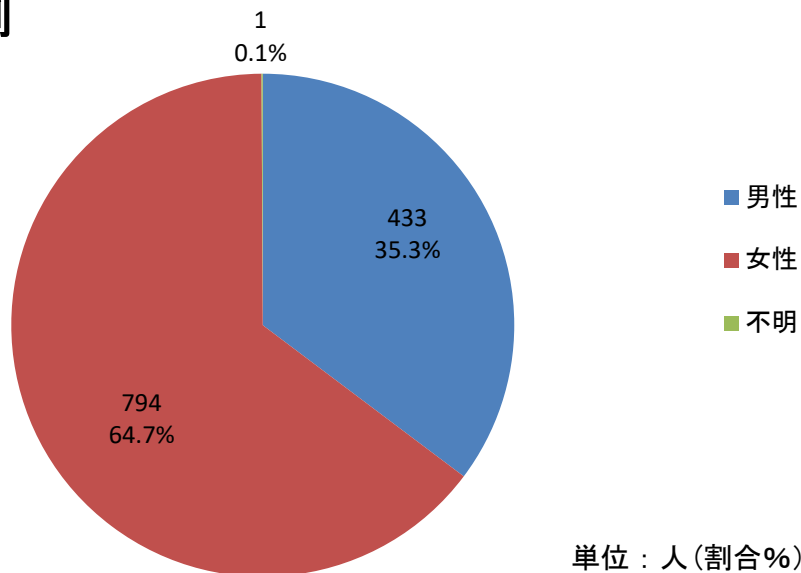


第1回eモニターアンケート 「安城市が実施する特定健康診査等について」

実施期間
回答数

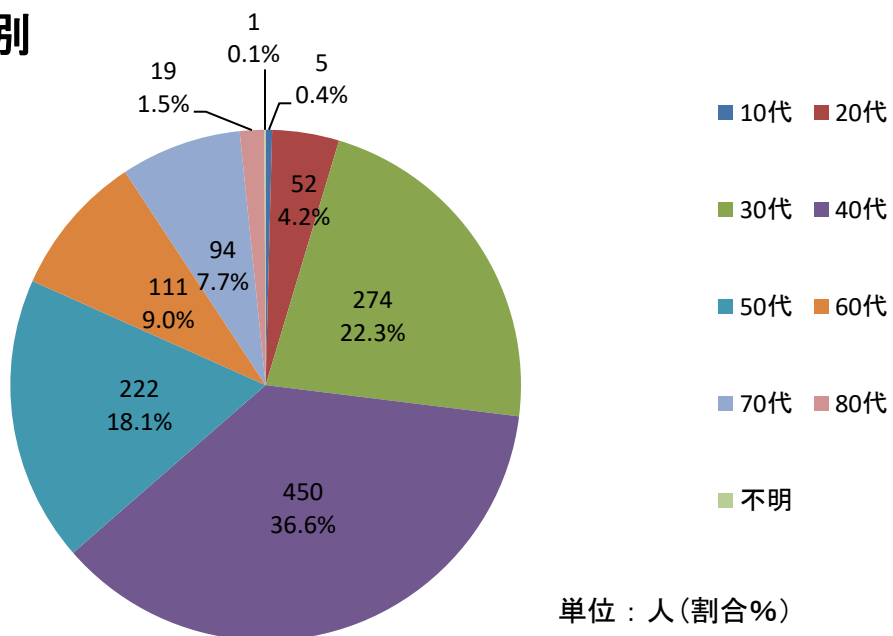
令和2年6月15日 ~ 令和元年6月22日
1228 人

性別



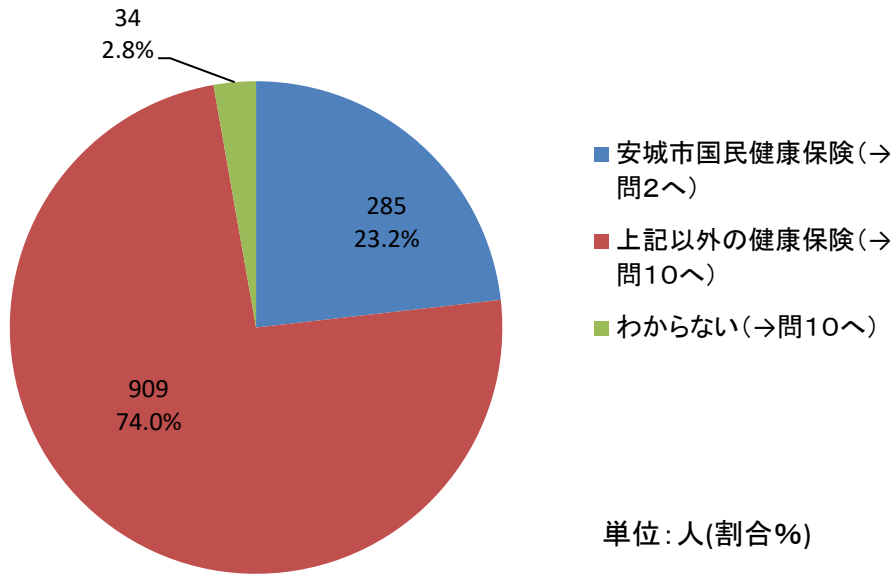
単位：人(割合%)

世代別

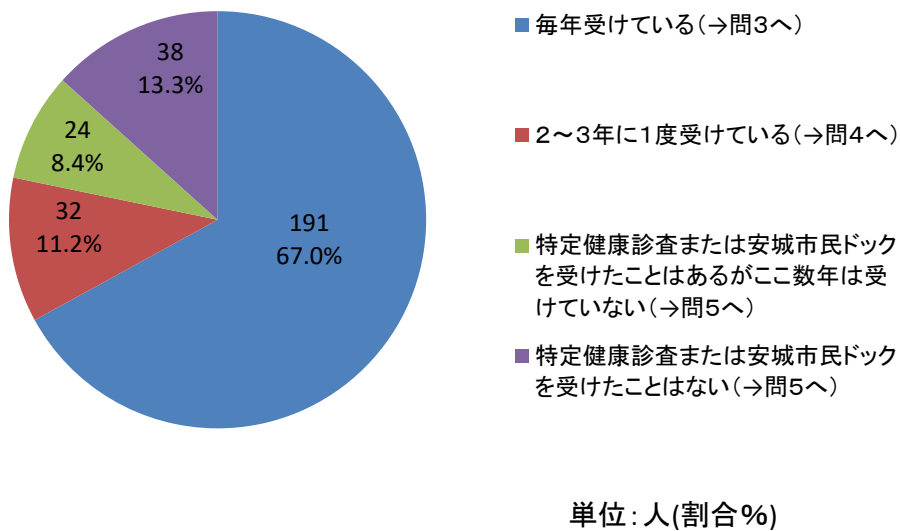


単位：人(割合%)

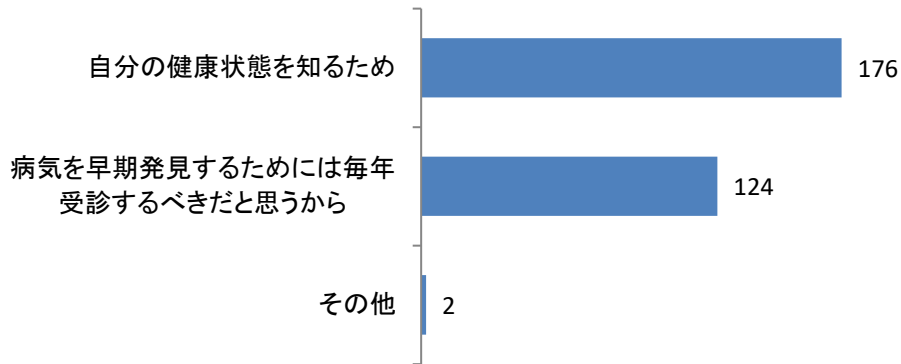
問1: 加入している健康保険



問2: 特定健康診査・安城市民ドック受診の頻度 (問1で「安城市国民健康保険に加入している」と回答した人)



問3：毎年特定健康診査・安城市民ドックを受ける理由
(問2で「毎年受けている」と回答した人に・複数回答)

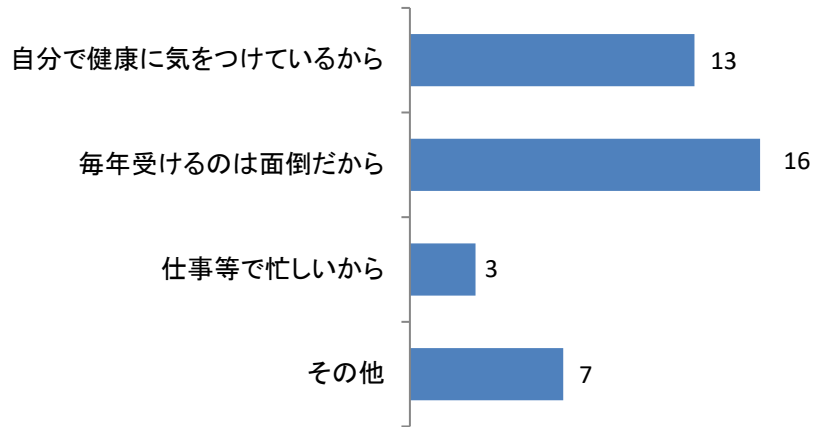


単位：人

【主なその他意見】

- ・職場で組まれるから
- ・職場で仕方なく

問4: 特定健康診査・安城市民ドックを毎年受けない理由(問2
で「2～3年に1度受けている」と回答した人・複数回答)

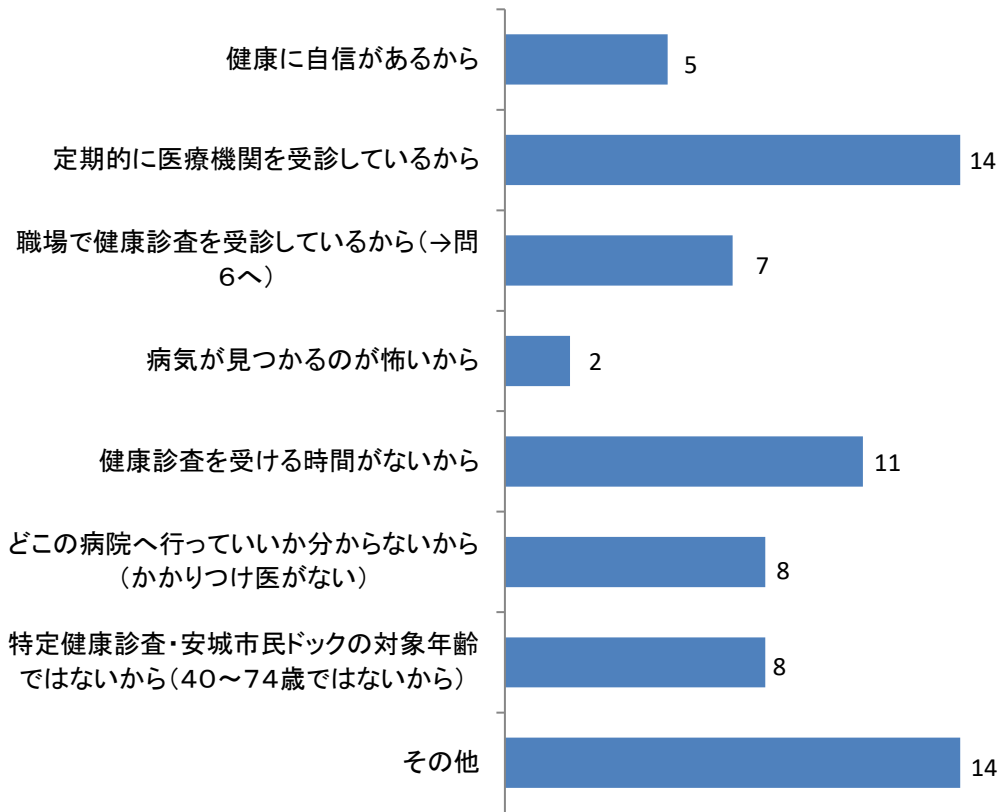


単位：人

【主なその他意見】

- ・かかりつけの医院で検査を受けており、今のところ異常が無いから
- ・ガイドヘルパーとの兼ね合いで毎年受信できない。
- ・育休中はなかなか受けることができなかった。
- ・職場で健康診断をしてくれたから
- ・持病があり定期的に病院にかかっているため、支障があれば検査を受けられる。
- ・自分は健康だという根拠の無い自信がある
- ・お金がかかるから

問5: 特定健康診査・安城市民ドックを受けていない理由(問2で特定健康診査または安城市民ドックを「受けたことはあるがここ数年は受けていない」「受けたことはない」と回答した人・複数回答)

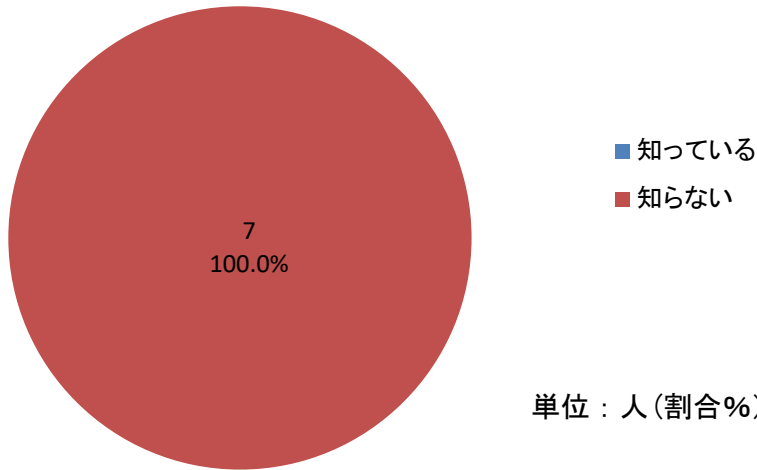


単位：人

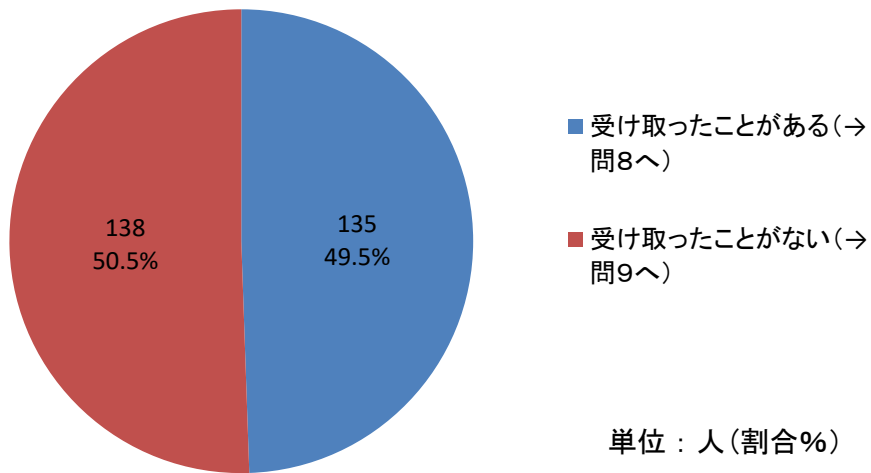
【主なその他意見】

- ・ 予約する為に病院に電話する事を、ついつい後回しにしてしまって…いつの間にか一年が終わってる。
- ・ 行こうとは毎年思っているが、後回しになってしまうため。
- ・ 職場で受けていたが退職したのでそのままになっていた
- ・ 職場の社会保険の健康診断を受けていた。
- ・ 気持ちは受診しなければとつねづね思っております。
- ・ お金に余裕がないから
- ・ 保健センターにて受けることができなくなっていたため
- ・ 年に1度健康診断を受ける必要があるのか健康な身体に負担がかかるのではとの情報があるから
- ・ 今月安城市国民保険に切り替えたところだから
- ・ 特に健康面で気になる事がなく、病院嫌いなので行ってない
- ・ 受診しなくては！と思いながら予約の電話を入れるのが億劫で受けずにきてしまった
- ・ 妊娠、出産で受けられる状態ではなかったため
- ・ 予約するのが面倒。

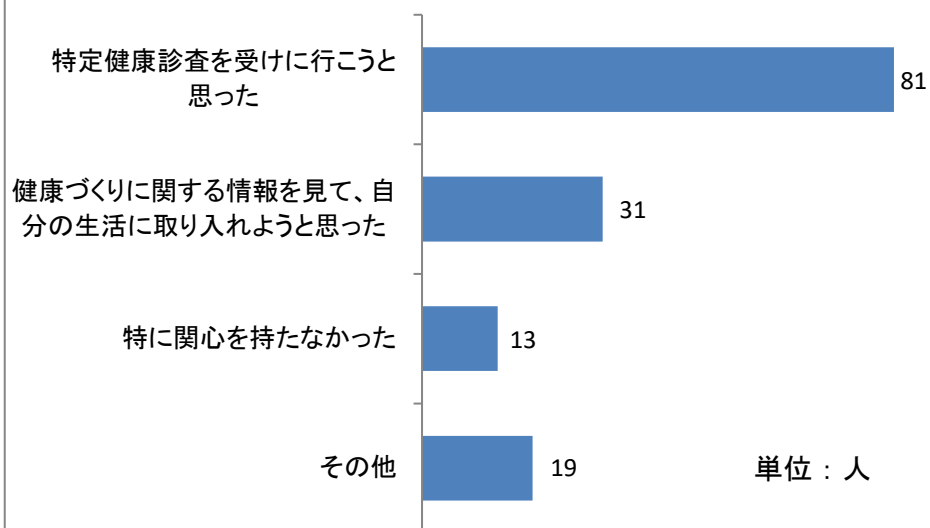
問6: 職場の健康診査の結果を市に提出すると健康づくりに関する粗品がもらえる制度の認知度
(問5で「職場で健康診査を受診しているから」と回答した人)



問7: 特定健康診査の受診を促す通知を受け取ったことがあるか(問1で「安城市国民健康保険に加入している」と回答した人)



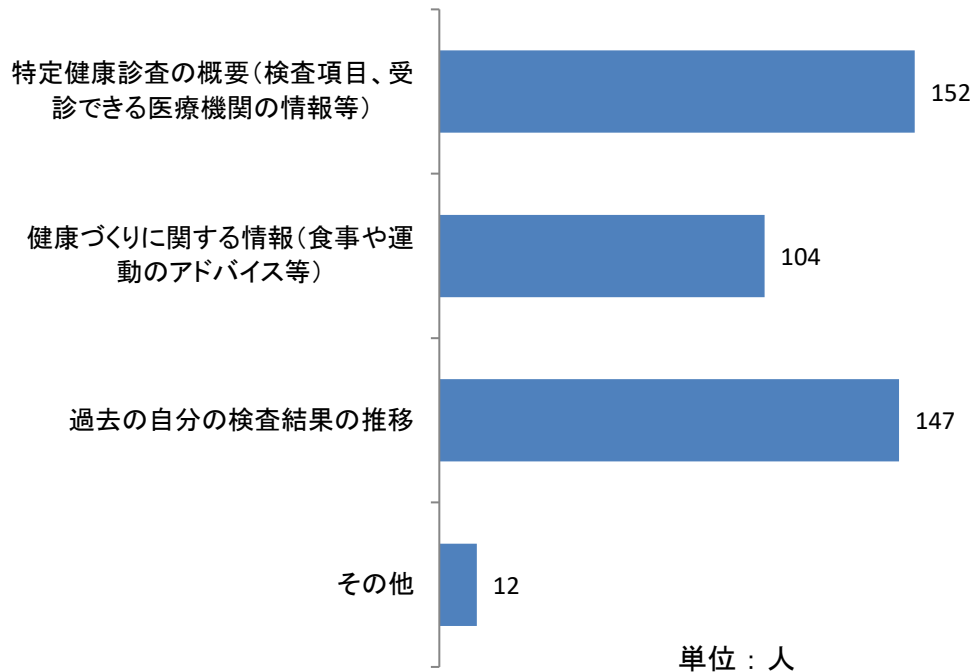
**問8: 特定健康診査の受診を促す通知を受け
取って感じたこと(問7で「受け取ったことがある」と回答し
た人・複数回答)**



【主なその他意見】

- ・行かなくてはと思っているだけに、急かされているようで、あまり気分のいいものではない
- ・毎年誕生日に受けることに決めているので必要としないハガキです
- ・特定健診ごときでは、大した検査をしてもらえないので、わざわざ予約してまで行く意味がないと思った
- ・今年はコロナが心配なので受診しない
- ・定期的に受診しているから必要ないと思った
- ・元々受けるつもりでいた。
- ・毎年誕生日に受診する計画なので、通知の意味・意義を感じていない
- ・毎年1月に受けているので、送ってくれなくても行くのに…と思っている。
- ・毎年11月以降に受けているので、通知は必要ないと感じています。
- ・毎年受診するので、通知は不要です。
- ・せかされているようでうっとおしいと思った。忘れてるわけじゃないのに。

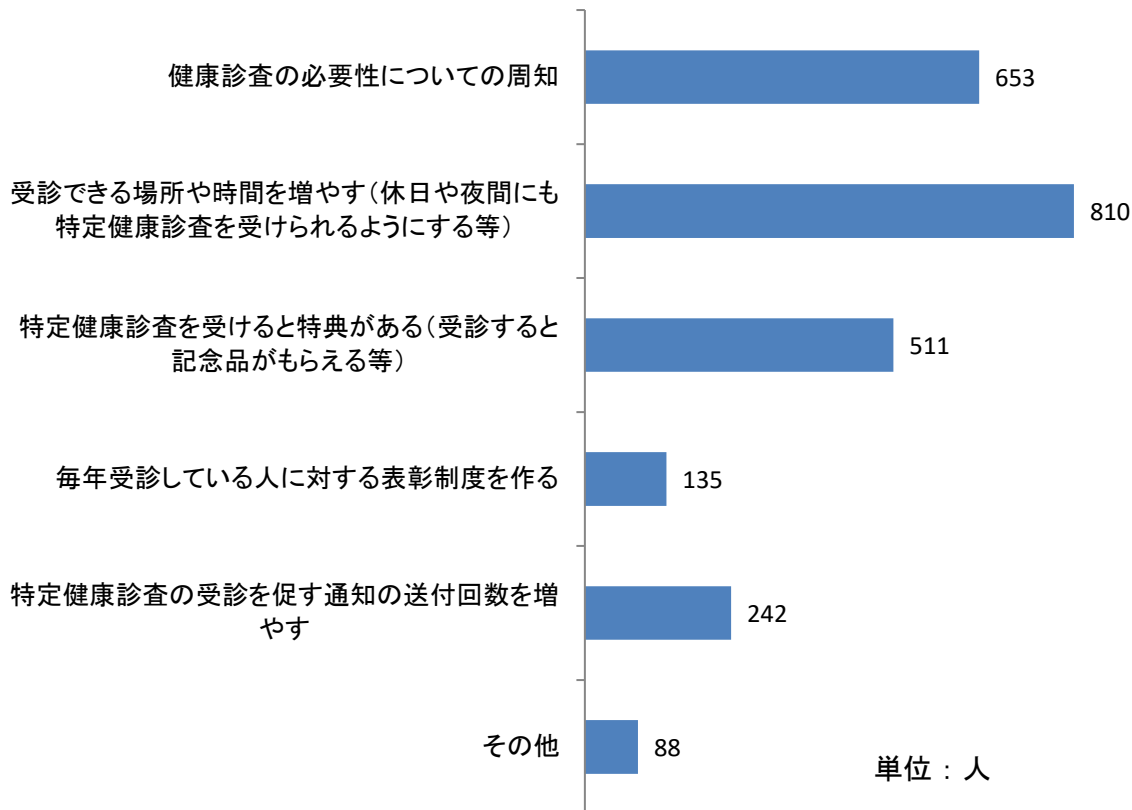
問9: 通知に何が書いてあれば、特定健康診査を受診する人がより増えると思うか(問1で「安城市国民健康保険に加入している」と回答した人・複数回答)



【主なその他意見】

- ・ 健康診断を受けなかった結果、重大な健康障害が起きて、家族がとても苦しみ悲しむことを知らせる。
- ・ 判りません。人それぞれだから。
- ・ 検査内容の充実があれば。がん検診等も含まれるものならば。
- ・ 検査項目ごとに、年齢を重ねるときの検査値の推移の傾向と、注目すべき変化傾向に関する情報
- ・ 自宅で出来る検査キット
- ・ 病気を早期発見、治療した体験談等。
- ・ ネットで予約が出来る
- ・ 健診を受けた人と受けなかった人の罹患率の違いなど

問10: 特定健康診査の受診者を増やすため必要だと思う取組み(複数回答)

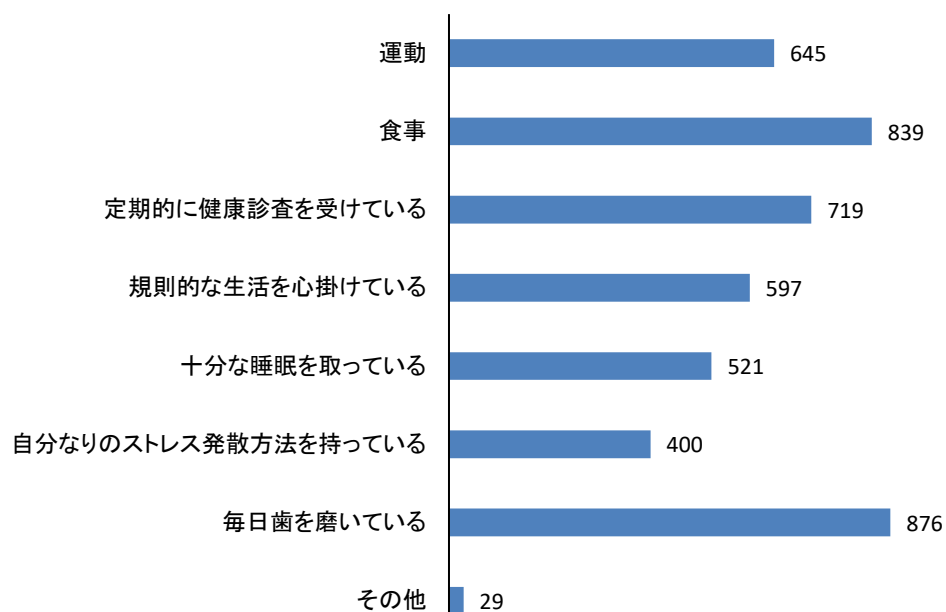


【その他意見(抜粋)】

- ・ 受診料への補助金増額
- ・ 国民健康保険料をほんのいくらか引いてあげる
- ・ 検査内容の充実
- ・ 自宅で出来る検査キット
- ・ 受診するとたまごやトイレットペーパーがもらえる。記念品は作るのにお金がかかるだけで喜ばれない。
- ・ 健康診査の結果によって得られた良い成果をさまざまな角度から取り上げ周知する。
- ・ 義務にする
- ・ 健康診査を受けないと医療費が高くなる
- ・ 受診した人にスーパーや飲食店などで使える割引券を渡す。
- ・ 早期発見できた人の実話を文章にして、受診を促す通知の送付に入れる。
- ・ がんの体験者のお話会などあれば、参考になるかと思います。私自身、検診では見つかりませんでした。がんを経験しているので、治療の辛さは、身に染みしています。
- ・ かかりつけ医受診の際に、合わせて受診できる。保険料の割引。
- ・ 検査項目を増やす。
- ・ 20代30代も受けられる様にして欲しい
- ・ 受けない人は何をしても受けないと思う。税金使ってまでそういう人の健康を気にする必要はない。自分からやろうと思うまでほうっておけばいい。
- ・ 苦痛を伴わない検査法の開発
- ・ 表彰などは不要!! 初期の病気の発見率や 受けない人と受けた人との余命、生活の質の差など、実際のデータを継続的に表示する
- ・ 検診予約の取りやすさ、健康で長生きしたいと思うような生きがいの提案、70歳で血圧〇〇なら3万円お祝い金
- ・ インターネット予約ができるようにする
- ・ 健康診査後の健康相談(治療・改善の方法や費用などについて)

- ・健康診査で早期発見して助かった、という経験をした方のコメント（手記）を載せる。
- ・オプションの検査を1つ無料で追加できる
- ・検査結果の一喜一憂を無くす周知
- ・仕事を休みやすい環境作り、自己負担額の軽減若しくは無料化
- ・結果のフォローの手厚さ
- ・通知がきたが分かりにくいです。簡素化してほしい
- ・健診の時に病院内で子供を預かってくれると行きやすい
- ・託児がある。公民館などで託児をしてもらえて、外に検診車が来て健康診ができれば託児も短い時間でできていいと思います。健診を受けたくても受けられる環境にない人も健診できるようになって欲しい。
- ・駅やコンビニなど普段目にする場所にポスター等を貼り、意識を高める
- ・安城市のLINEで通知する。
- ・夜間は医療関係者の負担が大きすぎるので、そこまでする必要はないと思う。月に1, 2度休日に受診できるようにできればよい。。
- ・結果の説明を医師から聞くことができるようにする。
- ・毎年受診している人にオプション検査無料券をプレゼント
- ・所要時間の目安がわかる、予約状況が予めネットで確認できる(候補日をいくつか考えてから予約ができる)
- ・受診状況を町内会などで周知する
- ・健康検査の後ランチを食べながら交流できる
- ・病院と連携し、病院を訪れた際に、特定健康検査の受診を促し予約までできるしくみを作る
- ・マイナンバーとの紐付けで未受診者の保険料アップ
- ・発病時の入院治療費平均額をのせて、検診して早期発見した方が安あがりだとアドバイス
- ・対象者に強制的に受診させる。

問11:実践している健康づくり(複数回答)



単位：人

【その他意見（抜粋）】

- ・ペットに癒してもらう
- ・家族、知人と話す。笑う。好きな事をする。例えば語学だとか。
- ・毎日笑う
- ・趣味をもつ
- ・定期的に献血をする
- ・不快なニュース、新聞、テレビを観ないこと
- ・除草、ごみ拾い、など社会に役立つことを兼ねて体を動かすよう心がけています。
- ・体調が悪いときは、早めにかかりつけ医に受診し、早めに検査や治療する。
- ・サプリメントの活用

問12：特定健康診査の受診率向上への取り組みについての意見（抜粋）

広報の中で、もっと目立つように工夫して(表紙に持ってくる、分かり易い大きなイラスト等)アピールする
受診しなかった人への督促と理由を調査する。
がん検診と特定健康診査のお知らせが別々にきて、どのようにしたらいいのかわからない。安城の施設での受診は6月予定と記載されていましたが、ネットで調べても詳細が出てきませんでした。残念です。
興味のない人へ何回督促状を出しても行く気がないので無駄です。市の用意する記念品も表彰も魅力を感じません。そもそも国民健康保険料は高いです。検診を受けている方はみんなの保険料を下げるべく行動してくださってると思えば記念品の額に値する保険料をまず割引きしてあげたらいいでしょうか。
「受診するメリット」と「受診しないデメリット」が具体的に分かるセミナー開催など情報の公開と積極PRにより、早期発見しなかったことによる手遅れ事例、(寝たきり等による)健康寿命と平均寿命との乖離による問題点のイメージを浸透させる。
地域や家庭内、老人会における啓蒙活動の推進。
負担金を少なくする。(補助を増額する)医療機関からのPRも行う。(主治医から勧める)
健康保険料の仕組みを知らせる啓蒙をしっかりして、検診を受けて早期に治療することが健康保険料を低く抑えたり将来的に必ず上がる自己負担を抑える効果があることを伝える。
小中学校でのお知らせに取り組んでみる
お金がかかるし、予約とか面倒くさいから、予防接種みたいに適当にこの日に受けて下さいと送り付けられればいいと思う
病気は遅れると死に至る事への通知と早期発見の啓蒙
どの年齢でどんな検診が来るのかという案内が少ないから通知が来るまで分からない。通知も1度しか来ないので忘れてしまうので、初めに検診票のついた通知、半年後くらいに普通のはがきで通知してもらえれば検診を意識すると思う。
検査できる時間帯や、予約できるかなどが詳しく示されていた方が行きやすい。
特定健康診査をもっと若者に知らせる。20代の私はその診査さえ知らなかった。もっと高齢の人たちよりも、若者から周知させ、健康年齢を今後高めていくために、健康診査などを受けるようにして行ったほうがいい、
健康づくりや食事、ダイエット、健康マイルプログラムなどの情報を定期的に配信する仕組みを新設し、E-メールアドレスを登録してもらい、案内配信により関心と注意を喚起されてはいいでしょうか。
現在職場の健診を毎年受けていますが結果に異常があっても、どの程度になったら受診したらいいのかどの科に行ったらいいのかわからずに放置した状態が続いています。受けるだけでなく結果が出たらどうしたらいいのかまで指導があれば受診が有意義に感じられるのではないかと思います。
当診査を利用しない人はどれくらい居られるのか数値で公表してほしい、当診査を利用している人と利用していない人でどれくらい医療費に差が出るのか市民に判るようにすると関心が高まるのでは。
安城市民の死亡原因の統計を知りたい。また認知症になる率など、将来の不安に向き合える内容も必要かなと思います。
家族で検診月を決めるなど。
検診のお知らせ回数を増やすのは有効だと思います。日常生活に追われて、通知が来てもつい忘れちゃうので何回もお知らせがあれば、その都度思い出し予約をする気が起こると思います。
健診の受診率はどうして向上させなくちゃいけないのかわからない。向上させると国から何か報酬があるのであればいいけど、そうでなければ受けたくない人は放っておけばいいと思います。
健康を重視する人は、自分から何らかの行動を起こしている。つまり、知識があるかないかの差であると思う。健康に関する情報を逐次更新、公開していつ意識を高めることが肝要と思う。
現在実施されている検査項目と健康度合いの相関を明示して関心度を向上させて、受診率の向上へとつなげる。現状の検査項目では少し荒っぽい様に感じている。

新聞へ折り込みチラシを入れる、小学生の頃から、健康管理の重要性を学ばせるなど、教育が大切だと思う。
正直なところ、定期的な広報だけでいいと思う。健康に留意しない人は、どんなにいったところで留意しないので予算を現状以上回す必要性を感じない。それよりか、認知症検査等、受診の必要性があるが、躊躇してしまいがちな検査に力を入れてほしい。
気軽に行けるところにあると行く気にもなるかもしれない。付近のスーパーやドラッグストアなどでポスターや広告等を入れてあると、気づきやすいかも。
安城市は啓発活動も盛んなので、今以上に特に思いつかない
市内での食事補助やサルビアスタンプの配布など。結果のデータベース化、異常値などあった場合は通知される機能。
SNSの効果的な活用。
特定健康診査を受診している人は、市県民税が安くなるなど、差別化を図る。
受けると特典があるではなく、受けないと罰則があるぐらいがいいと思う。
費用の更なる軽減または特典等。健康手当のようなものを打ち出し、検診結果を市に提出すれば、健康手当として振り込まれるとか。子ども手当のように毎年申請するようには。
費用対効果を考えて、市民、安城市の両方にメリットが得られるように、補助などもっと魅力的な提供をお願いします。
特定健康診査で見つかった病気の治療補助
子供がいると健診などで預ける先がなく行けないので、病院内で預けられる施設や仕組みがあると健診を受けやすい。結果は郵送で、もし結果が対面の場合はそれも電話やzoomで対応していただけたらもっと受けやすいのではと思います。
女性はなにかと家族を優先し、自分のことが後回しになってしまいます。私も行かなくてはと思うのですが、一度も行ったことがありません。自分でも残念です。
受診場所の充実と補助金制度
病院によっては、健診の予約を取りづらく、一ヶ月ほど待たないといけないので、すぐに受けられるようになれば良い。
中堅層の促進は休日でも受診出来るようになると伸びると思います。休暇が取りにくい。
脳ドックの受診が抽選だったり高額だったりするので、そちらの取組みを強化してほしい
仕事のある人など、健診のための休みをとりやすくする。
あまり病気にかからないので病院に行かないが、新しい職場は年に1度健康診断を受けるようにと促す。パートでもすべての会社がそうであるといい。
健診する場所までの交通機関サポート
特定健康診査を受診できる場所を市内だけでなく、勤務先の所在地でも申請すれば可能にしていただと仕事帰りに寄れたり、途中で行けたりするので便利だと思います。
受診できる医療機関の一覧がありがたいが、健診の種類によっては健診の時だけ受診する機関もある。前回から時間が空くと再度高い初診料が必要なので、そのような事も記載して貰えたらありがたい。
1人1人に合った検診が必要だと思います。
本検診に限らず、24時間パソコン、スマートフォンで空き状況の確認、予約ができるシステムがあると助かります。
通常健康診断は毎年受診しているが、脳ドックを含む。人間ドックもある程度の年齢で補助金出し実施して欲しい
苦痛のない検査
ありきたりな検査なら、わざわざ時間と労力を使ってまで受けない。もっと、特別なメリットが含まれるものならば、万人が受けると思う。
数年前に家族が発病するまで、20年以上の間、毎年人間ドックを受診していた。今でも数時間の自由時間があれば、ドックを受診したい。数年前に脳ドックを受け、頸骨圧迫があり、毎年のドックを勧められたが、翌年の申し込みで、昨年に続いての脳ドックは駄目と門前払いされた。かかりつけ医からの依頼でMRI撮像した結果、頸骨圧迫が危険と注意され、毎年の検査を勧められている。今はとても時間が無いが、時間があっても、機械的にドックのチャンスを振り分けるのはいかがかと思う。

<p>健診の結果が悪いと、精密検査に費用がかかったり、多少の血圧や血糖で生活習慣の見直しを求められたりするの嫌だからと言って受診しない人もいます（病気が見つかるのが怖いからというのに似ています）。健康に無頓着なわけではなく、自分のペースで受診したいようです。そういった方のニーズにあわせた健診、例えば自分の希望する項目だけ診査する（腹囲は測らない）という方法もあるとよいのかなと思います。</p>
<p>バリウム検査の代替になるものが追加料金なしであるといい。バリウム検査というだけで受けない人がいる</p>
<p>持病の経過観察で1回/年の診察を受けています。特定検診の検査項目はその診察で十分なので、そのほかに特定検診を受けようと思いません。受けようという気になる魅力的な健診項目にしてください。</p>
<p>乳がん検査の補助金の年齢を下げしてほしいです。20代、30代でもなる人がたくさんいるし、子育てで忙しくて検査を受ける人が少ないと思います。補助金が子宮頸がんと一緒に20歳からだだと早期発見に繋がると思います。</p>
<p>若い人にも検診が出来るようにする</p>
<p>30代、扶養手当受給者も人間ドックを受けたい</p>
<p>忙しい人には自宅でできる検査キットを選択できるとよいのでは。</p>
<p>年齢によって受けられるものが違い自分が何を受けられるのかを忘れてしまう。受けたいのに年齢で対象じゃないと外され受けられない。など、年齢の縛りがネックかと。全ての検査を受けたい人は受けられるようにするのは難しいですか？</p>
<p>オプションで検査項目を増やしたり、食事の健康レシピ、運動の仕方を教えていただけると嬉しいです。</p>
<p>病院はできれば行きたくないと思う場所の一つです。</p>
<p>診査の結果内容を市へ送るような事であれば、受診を嫌がる人もいます。</p>
<p>健康には常に不安がある。しっかり受診したいです。</p>
<p>ひとりひとりの感じ方だと思うが、年をとるといろいろ考えたり、反省したりすることが出てきます。それを減らすため、自分のため受けるべきだと思います。レントゲンで影が見つかり、初期の肺癌が、見つかりました。</p>
<p>検診は誰のためにするものでなく、自分のために！家族のために！健康でいるために！することなので、検診の時間はつくれると思いますよ。</p>
<p>新型コロナの発生によって、病院に行くことをためらっている人が少なからずいると思います。健康診断を行う場所に、感染する恐れがなく、安全に行われていることを周知できればいいと思います。</p>
<p>受診させれば義務化する。宣伝して受診する気のない人は諦める。無駄な宣伝費用、労力はかけるべきではない。</p>
<p>自分の健康に関心を持っていると病気等の早期発見に繋がり、回復も早く可能となり、家族にも心配・迷惑を掛けずに済む。金銭面でも自身の負担、健康保険制度への負担も少なく済む。結局、不健康は誰も幸福にはしないことを自覚していれば受診に取り組もうという姿勢が表れると思う。よって健康を損なうと不幸になることを市民に周知すべき。</p>
<p>意識の高い人はやるし、低い人は何度通知してもやらない。受診率を上げたいなら、何年も受診してない人を洗い出して直接連絡をとって促すしかない。持病持ちで定期的に病院に通っているから受けないという人もいる。</p>
<p>初めて聞いた。よくわからない。</p>
<p>私は76歳男性です。70歳前半の頃、特定検診の結果を書面で受け取っていたのですが、自己判断で精密検査を怠っていた事がありました。74歳の特定検診で、その病状が悪化していることが判明して急遽、精密検査をうけ「ステージ2」でした。現在、治療中ですが改めて「特定検診」のあり難さを痛感しているところですが、あわせて感謝もしています。</p>
<p>後の精密検査が面倒くさい。特定の事柄が気になる人は直接受診のほうが、時間の節約になりそう</p>
<p>職場で定期的に健康診断を受けているので、今は安心しています。</p>
<p>安城の取り組みは十分だと思う。私のように確信犯的に受診しない人間には、どの様に働きかけても効果は薄い。コストパフォーマンスも考慮すべき。</p>
<p>定期的（3カ月毎）に検査をしているが、一年に一回は安城市の特定健康診査を使用しその料金をマイナスにする制度ができると助かります。</p>
<p>体の異常を感じないから医者にはいかない</p>

私は癌になりましたが、それまで、健康には自信があり、検診もあまり受けていませんでした。健康な人ほど病院は無縁で、検診はどこへ行けばいいのかも分からず、ズルズルと検診を受けずに来ているのではないのでしょうか。地域別に受診歴がない人を歓迎してくれる病院を紹介するなど、受けやすい環境を作ってほしい

パートで勤務している職場で年に一回検診を受けています。単純に特定健診と検査内容が同じなので知らせは来ますが受けた事はありません。職場での検診と特定健診の違いもあまり知りません。違いが周知されれば行きたいと思います。

申し訳ないですが、市として取り組むものなのかと思いました。一般的に記憶力の低下してくる高齢者世代を対象にするなら分かりますが、40歳からの現役世帯は自己管理で良いのでは？国民健康保険の保険料で行うのであれば良いですが、市の税金を使って行うのであれば対象から漏れる社会保険加入者にも、同様のフォローをするべきでは、ないでしょうか？

妻は毎年受けているので今年から一緒に受けようと思う

私は乳癌、脳梗塞をここ2年の間に経験しました。どちらも早期発見です。お陰様で後遺症もなく過ごしています。病気はいつ来るか分かりません。えー私が・・・なのです。検診は受けましょう。自分のためです。

おそらく仕事をしているうちは会社で健康診断があるのでそっちで済ますことが多いと思われるが、定年になってなくなれば嫌でも受けると思うので地道に待つしかない

安城市だけの問題ではないように思う

健康診断の受診も大切だが、日ごろの健康維持活動がもっと大切。